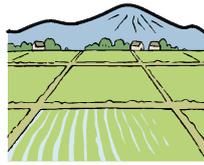


みなみっ子



学校だより 1月号
筑前町立三並小学校
平成30年1月8日(火)
文責 校長 二又 稔和

☆ 新しい年がやってきました!!



「新年、明けまして、おめでとうございます」

平成31年(2019年)を迎えました。新しい年号はわかりませんが、いよいよスタートです。旧年中は、三並小学校の学校教育にご理解とご協力をいただきありがとうございました。本年も職員一同力を合わせ「みなみっ子」の育成に、努力してまいりますので、これまで同様お力添えをいただきたいと思います。

さて、近年いろいろな事件や事故が起こり、ここ数年大変な年となっています。天災なので防ぎようのない面も多々ありますが、備えあれば憂い無しで、できる限りのことをそれぞれに対応できるようにしておかなければなりません。しかし、人災となるとある程度は、防げるのではないのでしょうか。現在学校で危機感を持っているのは、2学期の期末PTAでお願いしたように、携帯、スマホの問題が少しずつ小学校に忍び寄ってきていることです。これからは大人になるにつれて、活用することが多くなると思います。そのために、今から正しい使い方をお子さんを含めて確認しておく必要があります。家庭でのルールづくりです。これをやっておかないと社会に広がる誹謗中傷や情報の垂れ流しなどが起こりかねません。「本当に今必要なのか？」をもう一度考えて、必要ならば事件、事故に巻き込まれないような手立てが必要です。ちょっとでもおかしいと思ったら学校と協力して重篤にならないようにしていきましょう。拡散してからでは遅いです。

☆ 「努力し続ける」三学期に!!

始業式で、元気な子ども達の姿を見ることができました。2学期の終業式に今回も冬休みにやることとして、3つの約束をしました。1つ目は、「命を大切にすること」。交通事故などに気を付けること。2つ目は、「元気に過ごす」規則正しい生活を心がけ、生活のリズムを大切にしてお過ごしのこと。3つ目は、「家の手伝いをする」家族の一員としての自覚をもち、自分から進んでお手伝いをすることです。安心・安全な冬休みを過ごすことはできたでしょうか。家庭での役割であるお手伝いは社会性を養っていく上でとても大切です。自分も家庭の役に立っていると自覚すると自尊心を高めることにつながります。その気持ちは、学校生活でも必要で、「わかった、できた」といった学力向上にもつながっていきます。そして、やれたとき親として素直にほめることも大切です。子ども達は新たな1年ということで、何かにチャレンジしたいという思いも湧いてくるところです。「1年の計は元旦にあり」ということで、充実した1年になるように目標を立てて、1、2学期でやれたこと、やれなかったことを整理して、スタートさせるように話をしています。学校生活では今年もお互いのよさを伸ばし合いながら「学び合い」でお互いを高め合っていくことの大切さを伝えていきます。また、6年生にとっては、小学校最後の学期です。1～5年生にとっても進級を控えた大切な時期です。「夢は力なり」「継続は力なり」と言い続けています。今年もよろしくお祈りします。